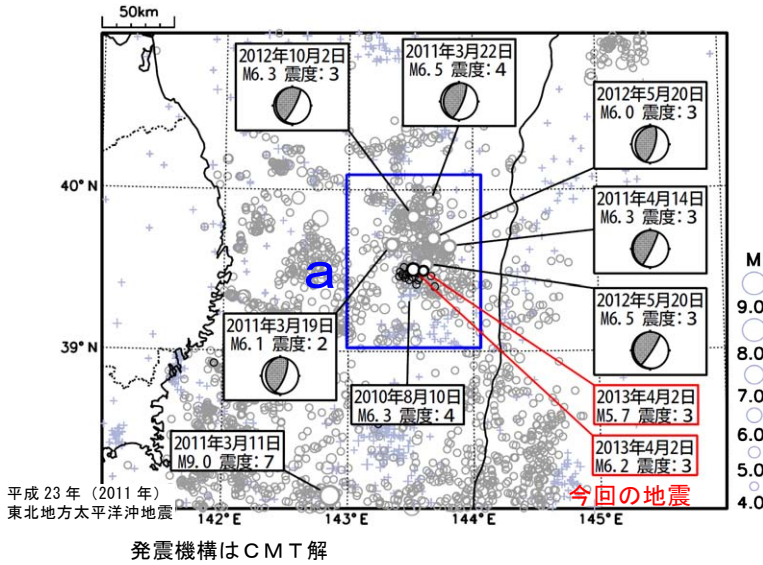


4月2日 三陸沖の地震

震央分布図*

(1997年10月1日～2013年4月5日、
深さ0～100km、M≥4.0)

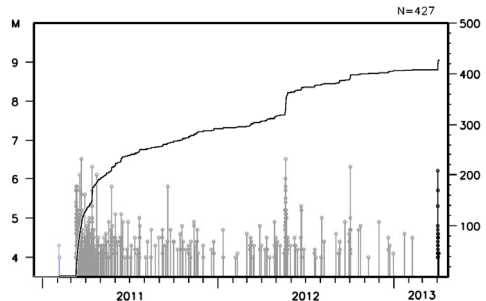
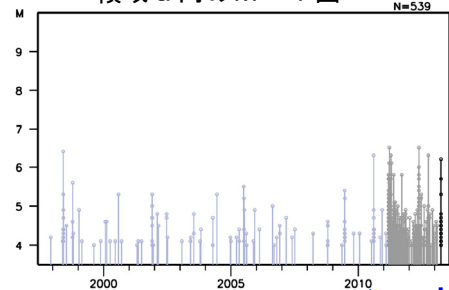
東北地方太平洋沖地震以前に発生した地震を+、東北地方太平洋沖以降に発生した地震を薄い○、2013年4月以降に発生した地震を濃い○で表示



2013年4月2日03時53分に三陸沖でM6.2の地震(最大震度3)、同日11時08分にはほぼ同じ場所でM5.7の地震(最大震度3)が発生した。これらの地震は太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した地震である。

1997年10月以降の活動を見ると、今回の地震の震源付近(領域a)では、東北地方太平洋沖地震の発生後は地震活動が活発化している。また、2012年5月にM6.5(最大震度3)を最大とする地震活動が発生した。このM6.5の地震により、久慈港で11cm、石巻市鮎川で6cmの津波が観測された。また、同年10月にもM6.3(最大震度3)を最大とする地震活動が発生した。

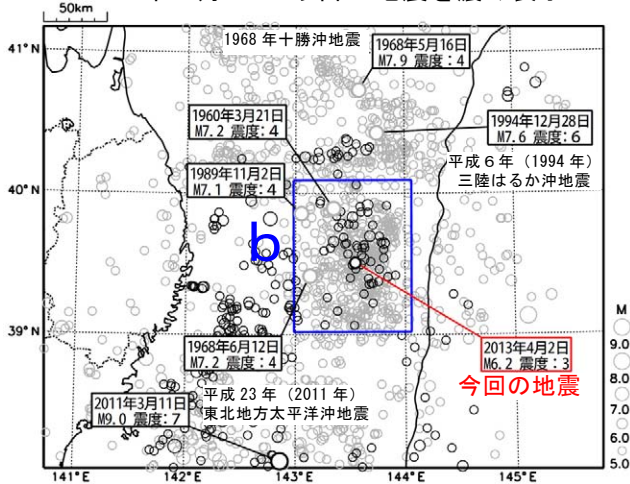
領域a内のM-T図*



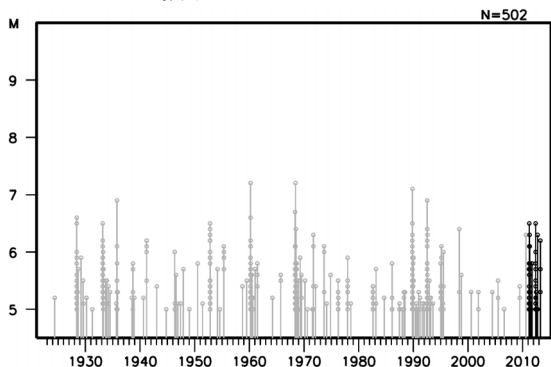
震央分布図

(1923年1月1日～2013年4月5日、
深さ0～100km、M≥5.0)

2011年3月11日以降の地震を濃く表示



領域b内のM-T図



1923年1月以降の活動を見ると、今回の地震の震央付近(領域b)では、M6～7クラスの地震を最大とするまとまった地震活動が時々発生している。1989年11月2日のM7.1の地震(最大震度4)を最大とする地震活動では、10月27日から11月2日の7日間にM5.0以上の地震が34回発生した(このうち6回はM6.0以上)。また、このM7.1の地震により、北海道と三陸沿岸で高さ50cm未満の津波が観測された(「最新版 日本被害地震総覧」による)。

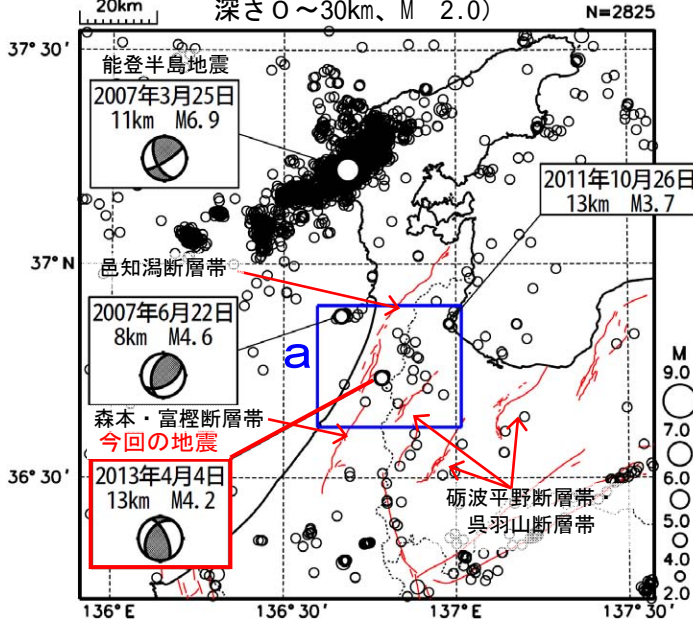
なお、1968年及び1994年末から1995年にかけての地震活動は、それぞれ「1968年十勝沖地震」と「平成6年(1994年)三陸はるか沖地震」の余震活動を含んでいる。

*2011年3月13日～5月30日に未処理のデータがある。

4月4日 石川県加賀地方の地震

震央分布図

(1997年10月1日～2013年4月4日、
深さ0～30km、M 2.0)



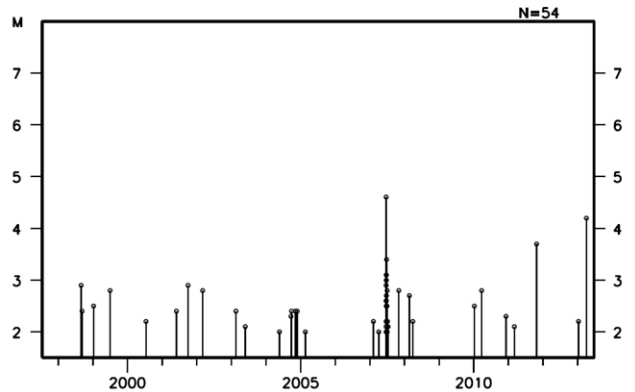
図中の細線は地震調査研究推進本部による
主要活断層帯を表示

2013年4月4日01時58分に石川県加賀地方の深さ13kmでM4.2の地震(最大震度4)が発生した。この地震は地殻内で発生した。

1997年10月以降の活動を見ると、今回の地震の震源付近(領域a)では、2007年6月22日にM4.6の地震(最大震度4)が発生している。

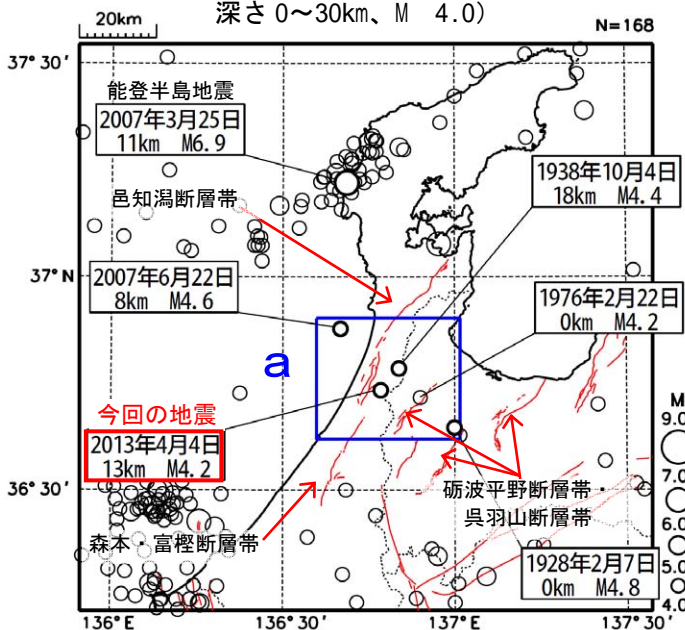
1923年1月以降の活動を見ると、今回の震源付近(領域a)では、M4.0を超える地震が時々発生しており、1928年2月7日にM4.8の地震(最大震度2)が発生している。

領域a内のM-T図 (M 2.0)



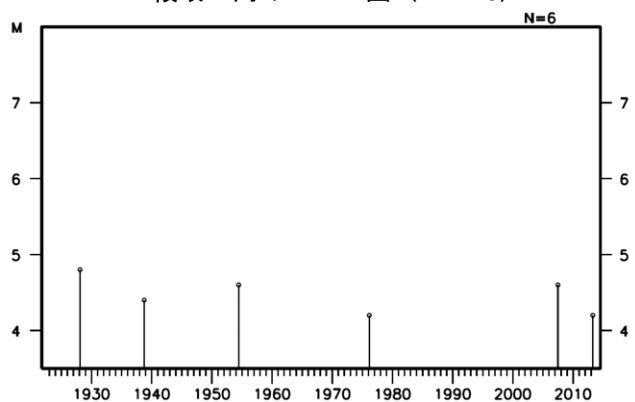
震央分布図

(1923年1月1日～2013年4月4日、
深さ0～30km、M 4.0)



図中の細線は地震調査研究推進本部による
主要活断層帯を表示

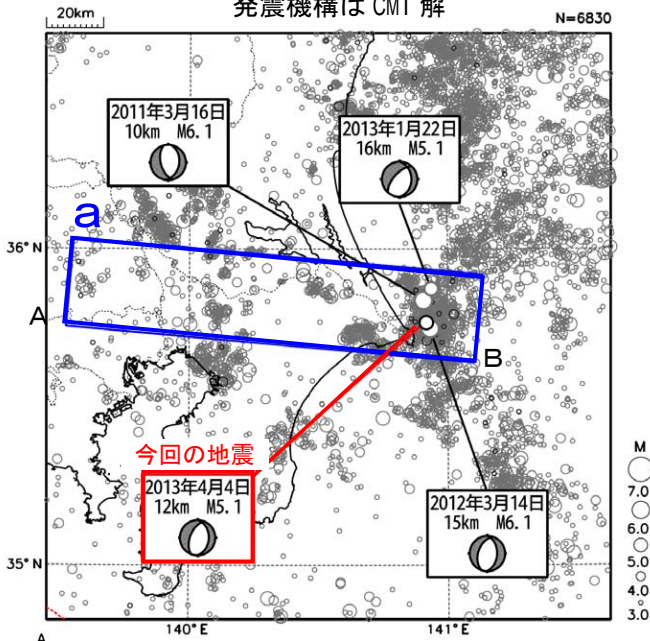
領域a内のM-T図 (M 4.0)



4月4日 千葉県東方沖の地震

震央分布図

(1997年10月1日～2013年4月5日、
深さ0～120km、M 3.0)
2013年3月以降の地震を濃く表示
発震機構はCMT解

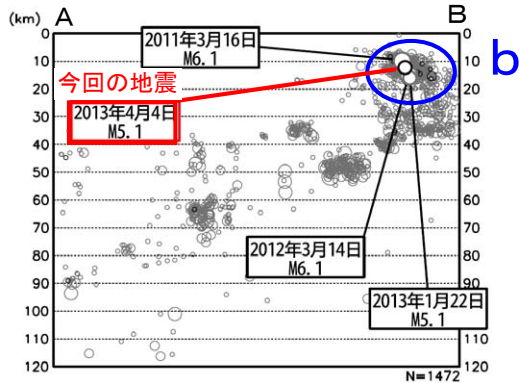


2013年4月4日13時42分に千葉県東方沖の深さ12kmでM5.1の地震 (最大震度4) が発生した。この地震は地殻内で発生し、発震機構 (CMT解) は西北西-東南東方向に張力軸を持つ正断層型であった。

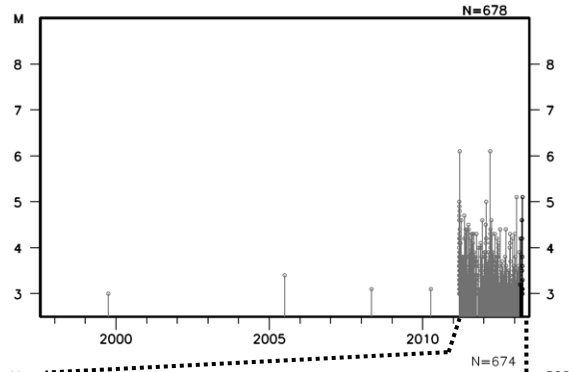
1997年10月以降の活動を見ると、今回の地震の震源付近 (領域b) では、M3.0以上の地震はほとんど発生していなかったが、「平成23年 (2011年) 東北地方太平洋沖地震」の発生以降地震活動が活発になり、M4.0以上の地震がしばしば発生している。そのうち、2012年3月14日に発生したM6.1の地震 (最大震度5強) では、死者1人、負傷者1人、住家一部破損3棟などの被害を生じた (総務省消防庁による)。

1923年1月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺 (領域c) では、M6.0以上の地震がしばしば発生している。最大の地震は2011年3月11日に発生したM7.6の地震 (東北地方太平洋沖地震の最大余震、最大震度6強) である。

領域a内の断面図 (A-B投影)

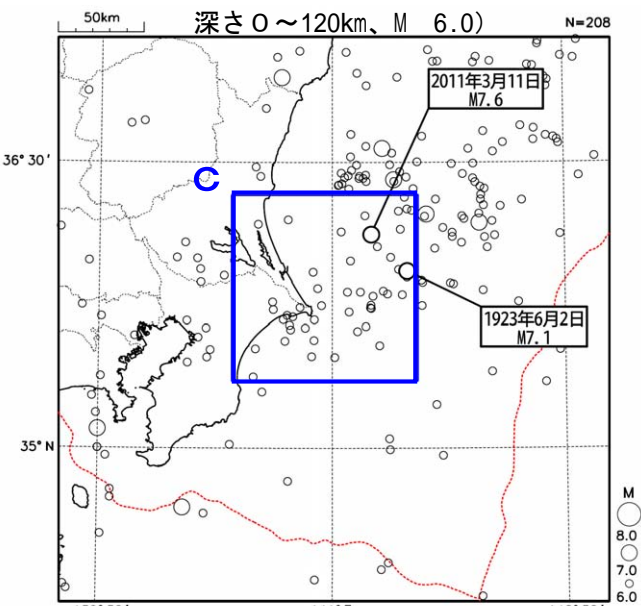


領域b内のM-T図及び回数積算図

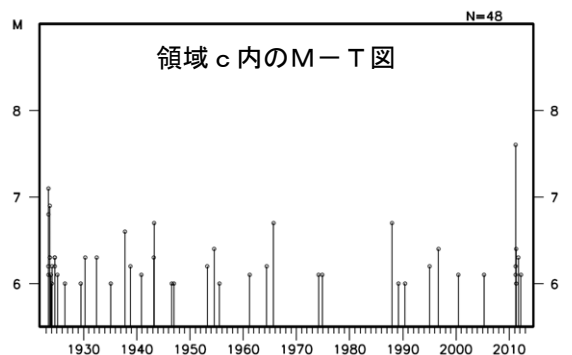
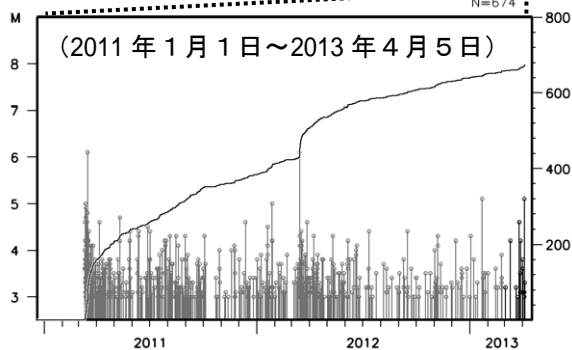


震央分布図

(1923年1月1日～2013年4月5日、
深さ0～120km、M 6.0)



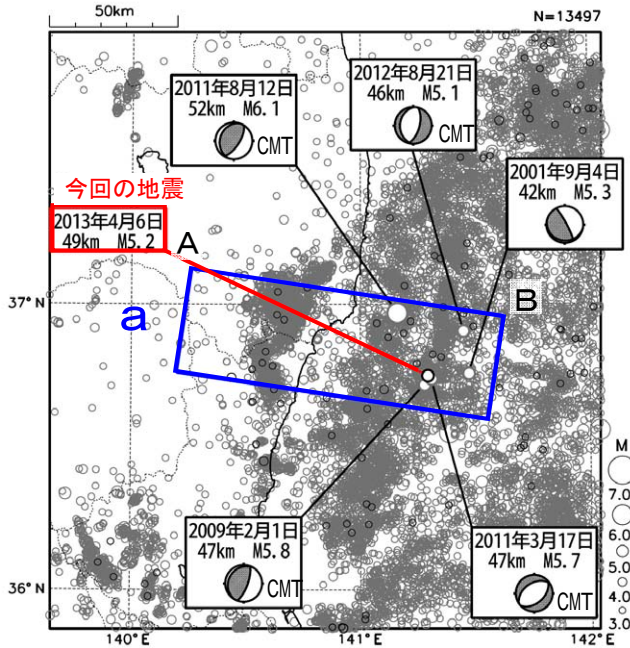
は今回の地震の震央位置



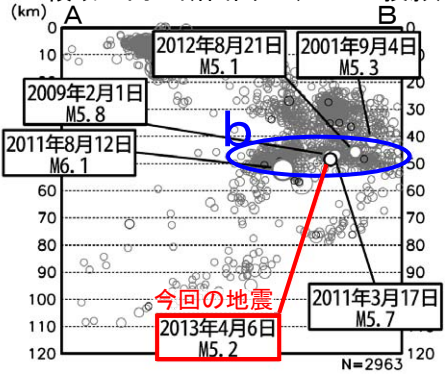
4月6日 茨城県沖の地震

震央分布図

(1997年10月1日～2013年4月6日、
深さ0～120km、M 3.0)
2013年3月以降の地震を濃く表示

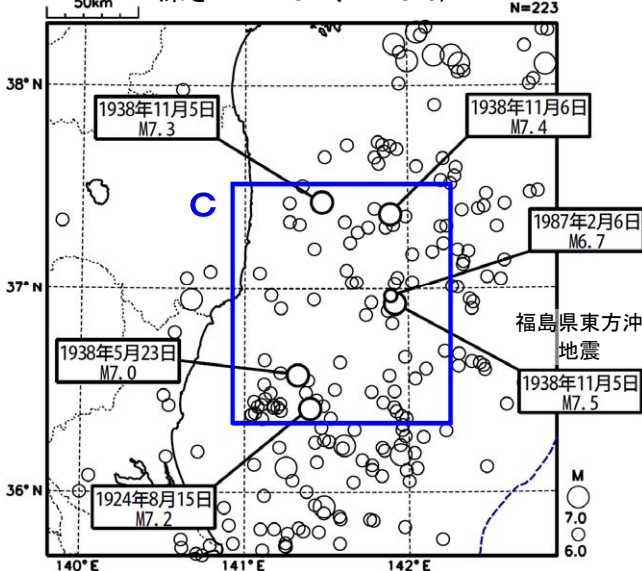


領域a内の断面図 (A-B投影)



震央分布図

(1923年1月1日～2013年4月6日、
深さ0～120km、M 6.0)



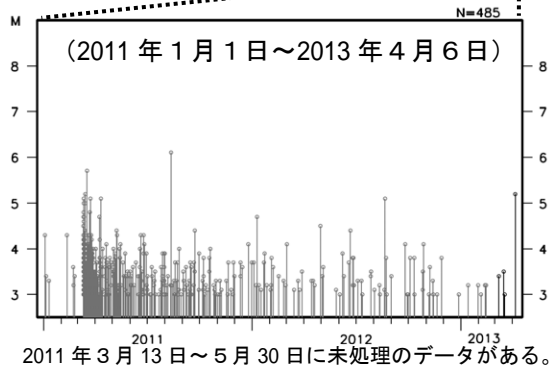
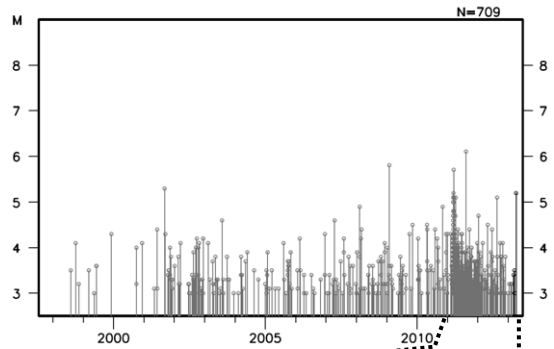
は今回の地震の震央位置

2013年4月6日05時00分に茨城県沖でM5.2の地震(最大震度3)が発生した。この地震の発震機構(CMT解、速報)は北西-南東方向に張力軸を持つ正断層型である。

1997年10月以降の活動を見ると、今回の地震の震源付近(領域b)では、M4.0以上の地震がしばしば発生していた。また、「平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震」発生後は、しばらく地震活動が活発化した。

1923年1月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺(領域c)では、M6.0以上の地震がしばしば発生しており、1938年11月5日のM7.5の地震(福島県東方沖地震)を含む活動や1987年2月6日のM6.7の地震を含む活動などのまとまった活動が見られている。

領域b内のM-T図



領域c内のM-T図

